

転入転出に関する 窓口アンケート調査結果

令和5年6月
稲敷市

1 調査概要

(1) 目的

本市の人口流入・流出状況を把握するとともに、人口問題への対策を検討するための基礎資料

(2) 対象者

転入・転出届を提出した方の中で、アンケートに協力していただいた方
(推移は、アンケート対象者ではなく届出件数)

(3) 調査方法

転入・転出者に対し窓口でのアンケート調査

(4) 調査期間

平成27年4月～令和3年3月

(5) 調査項目

転入

①年齢別転入者数の推移 ②転入の理由 ③勤務先 ④市外でも住まいを探したか ⑤稲敷市を選んだ理由

転出

①年齢別転出者数の推移 ②転出の理由 ③市内でも住まいを検討したか ④将来稲敷市に戻るか
⑤どのような環境であれば戻りたいか ⑥戻る場合のきっかけ・タイミング

1 調査概要

(6) アンケートの回収状況

転入

	届出数	回答数	回答率
H27	1,257	411	32.7%
H28	1,542	329	21.3%
H29	1,375	215	15.6%
H30	1,143	402	35.2%
R1	1,221	391	32.0%
R2	1,125	196	17.4%
R3	1,088	302	27.8%

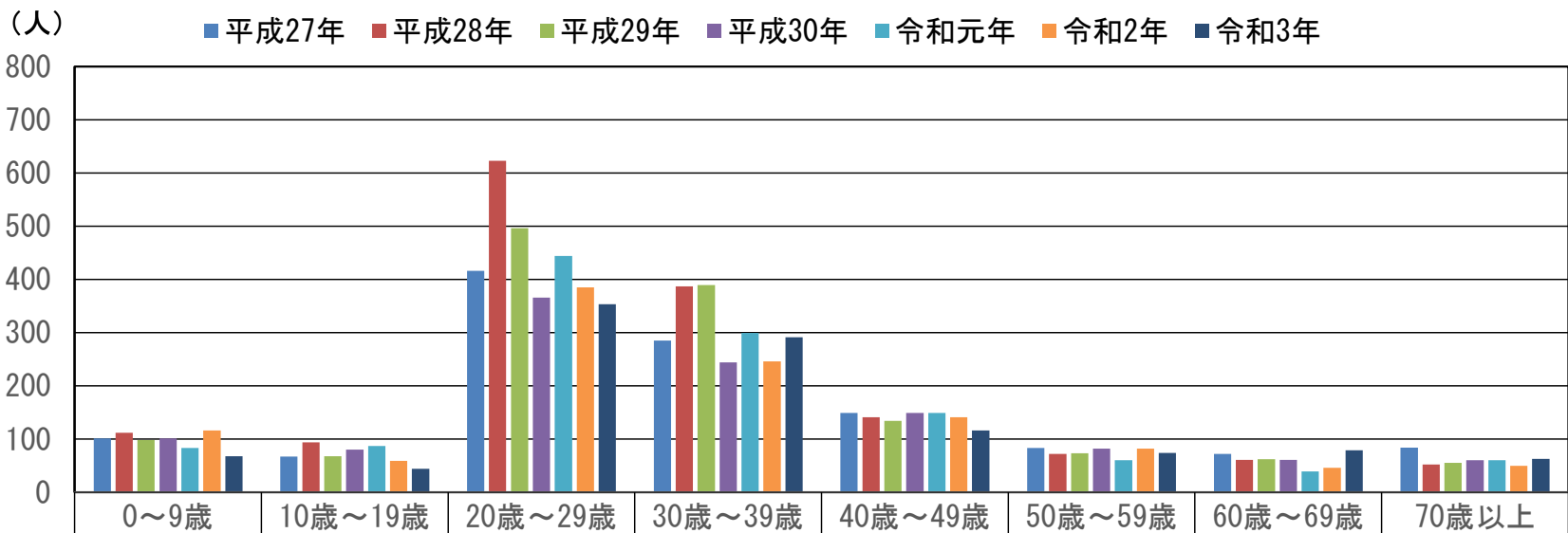
転出

	届出数	回答数	回答率
H27	1,532	647	42.2%
H28	1,776	143	8.1%
H29	1,707	462	27.1%
H30	1,448	317	21.9%
R1	1,557	646	41.5%
R2	1,365	476	34.9%
R3	1,330	394	29.6%

すべての年において、転出の届出数が多くなっている。

2-①年齢別転入者数の推移

- すべての年において、20代が最も多く、次いで30代となっている。

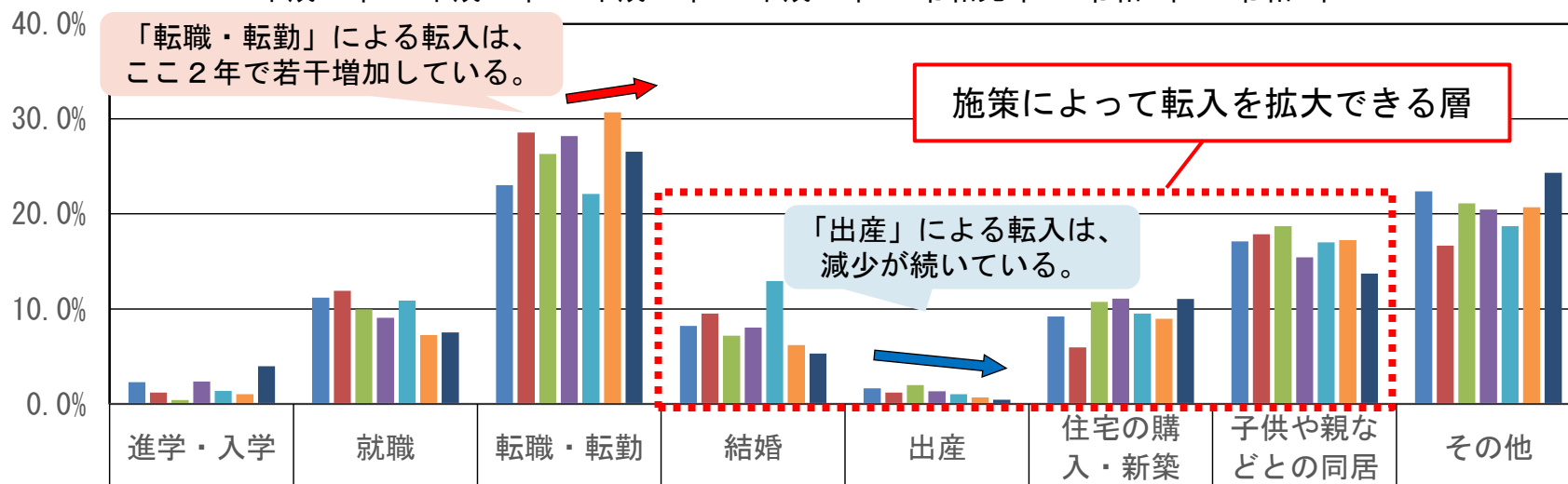


	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上
平成27年	101	67	416	285	149	83	72	84
平成28年	112	94	623	387	141	72	61	52
平成29年	98	68	496	389	134	73	62	55
平成30年	101	80	366	244	149	82	61	60
令和元年	83	87	444	299	149	60	39	60
令和2年	116	59	385	246	141	82	46	50
令和3年	68	44	353	291	116	74	79	63

2-② 転入の理由

- すべての年で、「転職・転勤」が最も多く、次いで「子供や親などとの同居」が多くなっている。
- 「その他」においては、“離婚”や“介護”、“老人ホーム入所”の他、“退職して戻ってきた”などがあった。

(人) ■平成27年 ■平成28年 ■平成29年 ■平成30年 ■令和元年 ■令和2年 ■令和3年

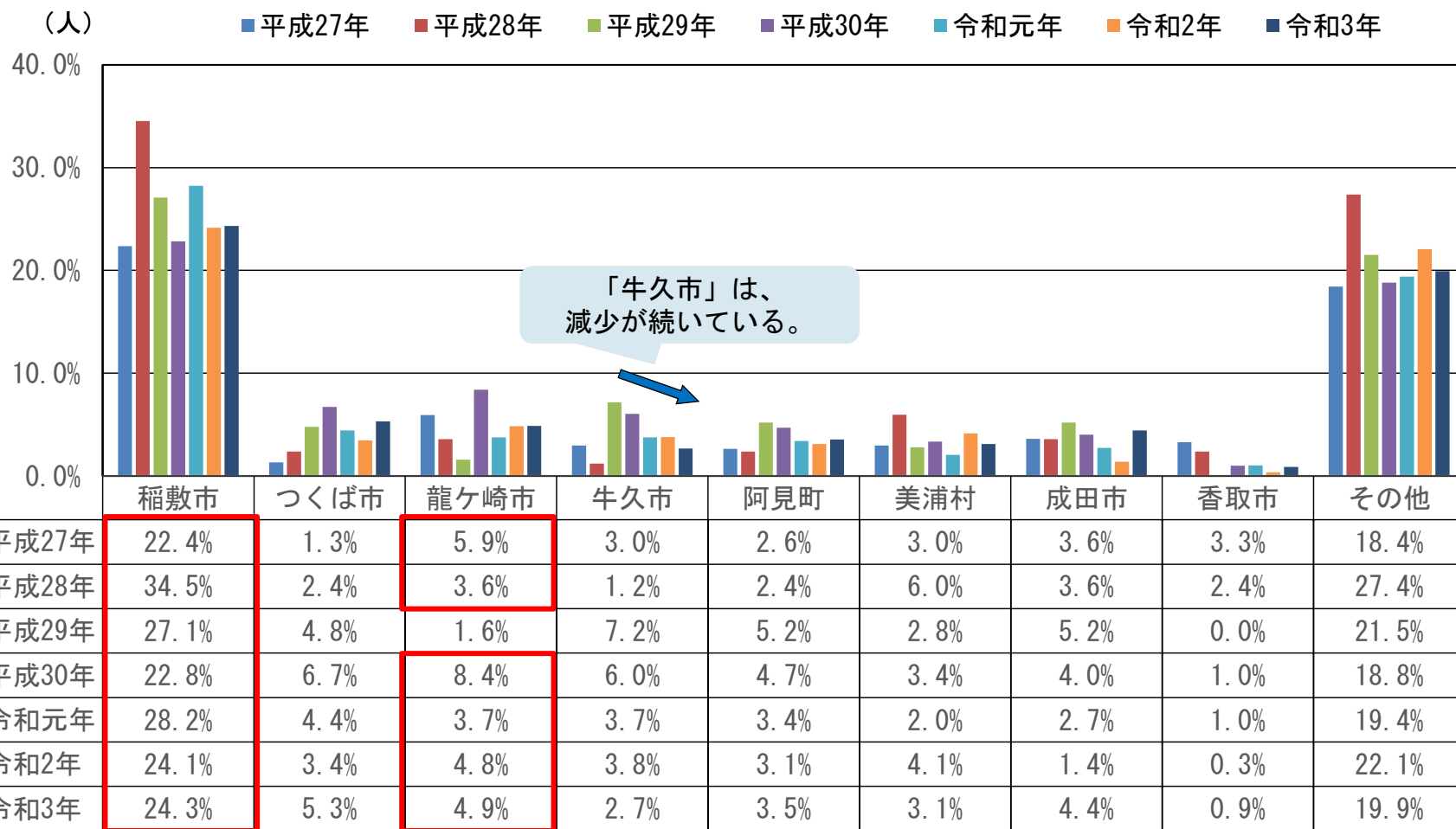


	進学・入学	就職	転職・転勤	結婚	出産	住宅の購入・新築	子供や親などとの同居	その他
平成27年	2.3%	11.2%	23.0%	8.2%	1.6%	9.2%	17.1%	22.4%
平成28年	1.2%	11.9%	28.6%	9.5%	1.2%	6.0%	17.9%	16.7%
平成29年	0.4%	10.0%	26.3%	7.2%	2.0%	10.8%	18.7%	21.1%
平成30年	2.3%	9.1%	28.2%	8.1%	1.3%	11.1%	15.4%	20.5%
令和元年	1.4%	10.9%	22.1%	12.9%	1.0%	9.5%	17.0%	18.7%
令和2年	1.0%	7.2%	30.7%	6.2%	0.7%	9.0%	17.2%	20.7%
令和3年	4.0%	7.5%	26.5%	5.3%	0.4%	11.1%	13.7%	24.3%

※アンケート回答件数の割合で算出

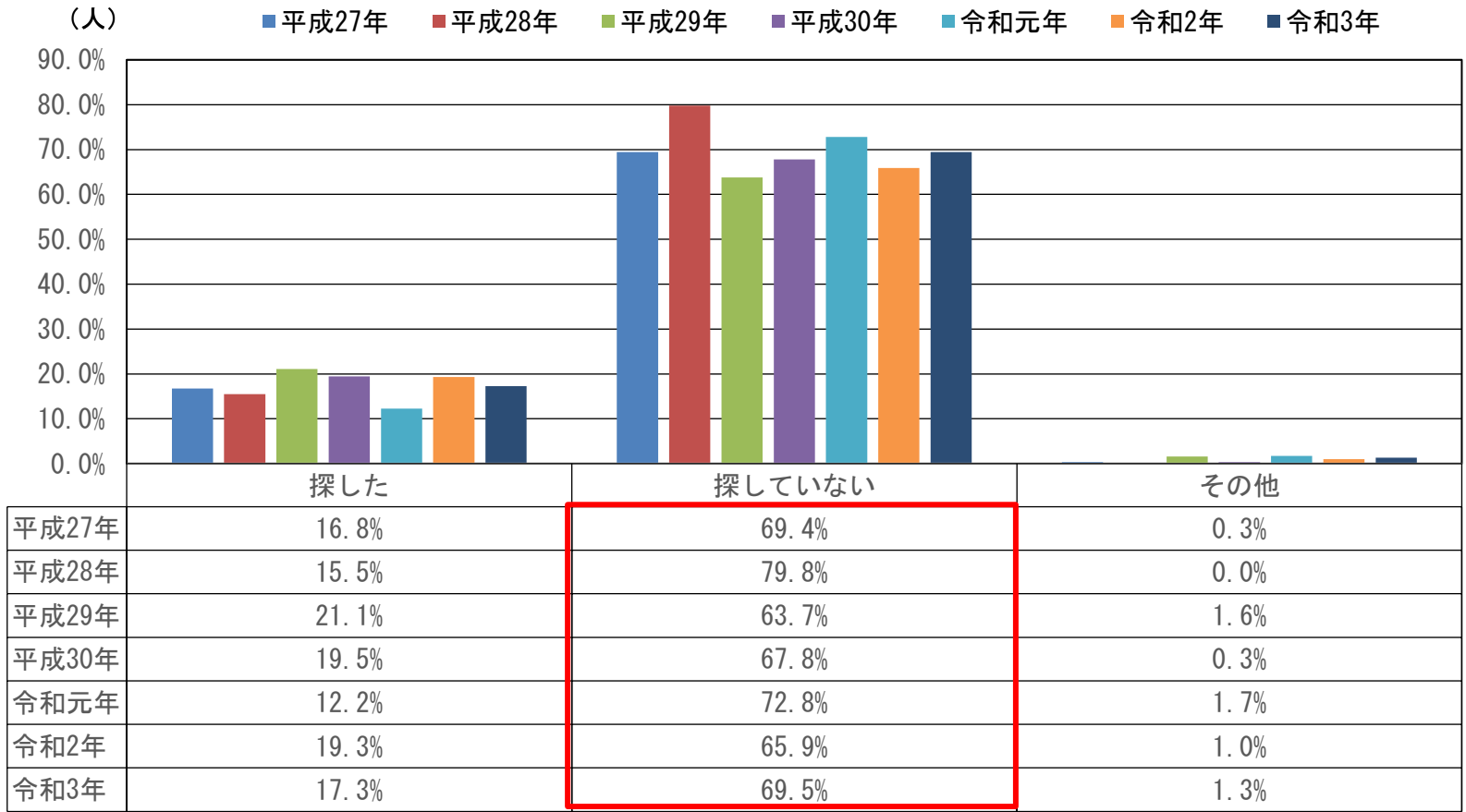
2-③勤務先

- ・すべての年で、「稲敷市」が最も多くなっている。
- ・「龍ヶ崎市」は平成29年を除き稲敷市の次に多くなっている。
- ・「その他」においては、“土浦市”、“鹿嶋市”、“神栖市”、“千葉県”などがあつた。



2-④市外でも住まいを探したか

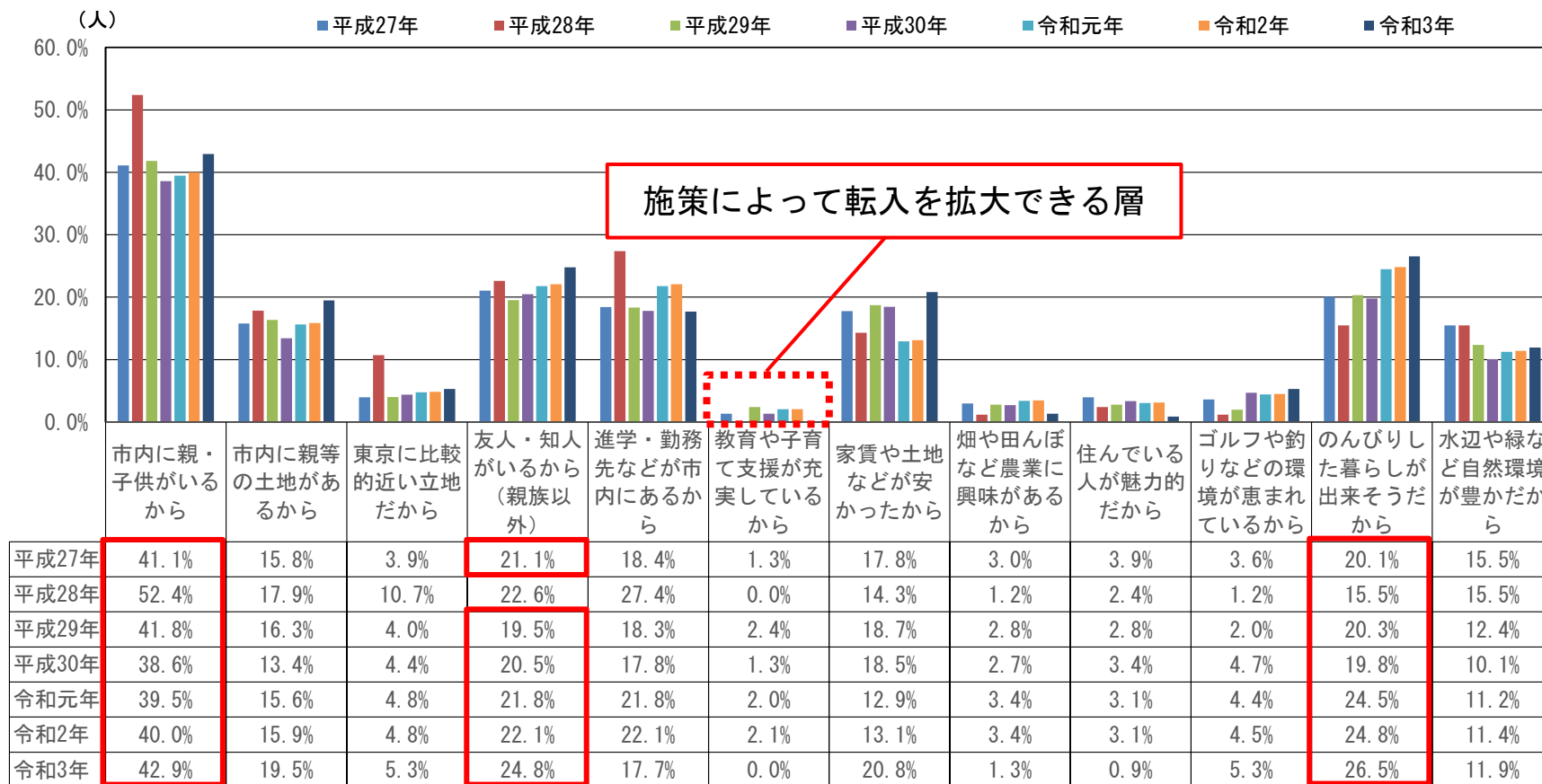
・すべての年において、6割以上が「探していない」と回答している。



※アンケート回答件数の割合で算出

2-⑤ 稲敷市を選んだ理由

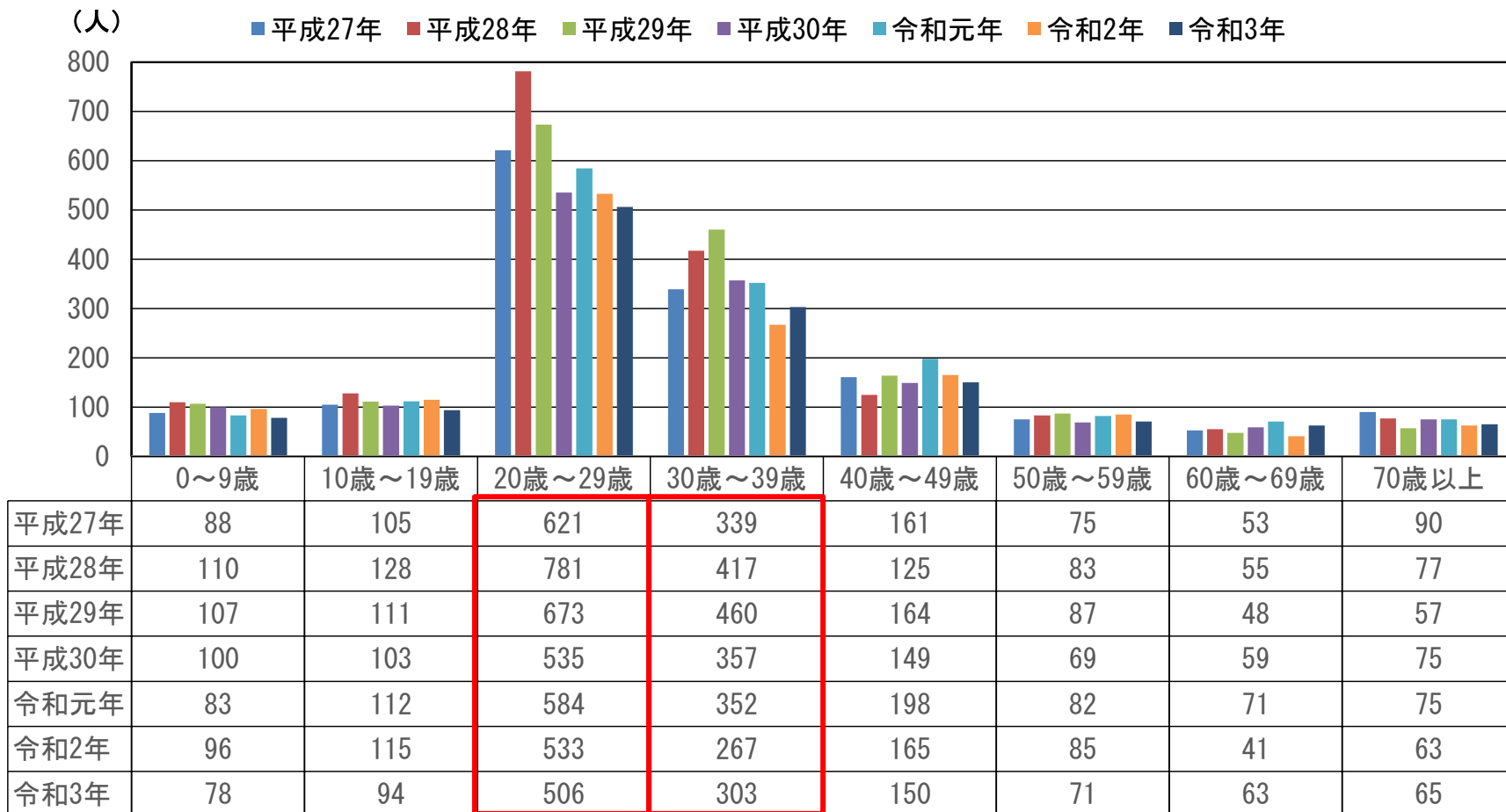
- ・すべての年において、「市内に親・子供がいるから」が最も多くなっている。
- ・「友人・知人がいるから（親族以外）」は、平成28年を除き2番目に多くなっている。



※アンケート回答件数の割合で算出

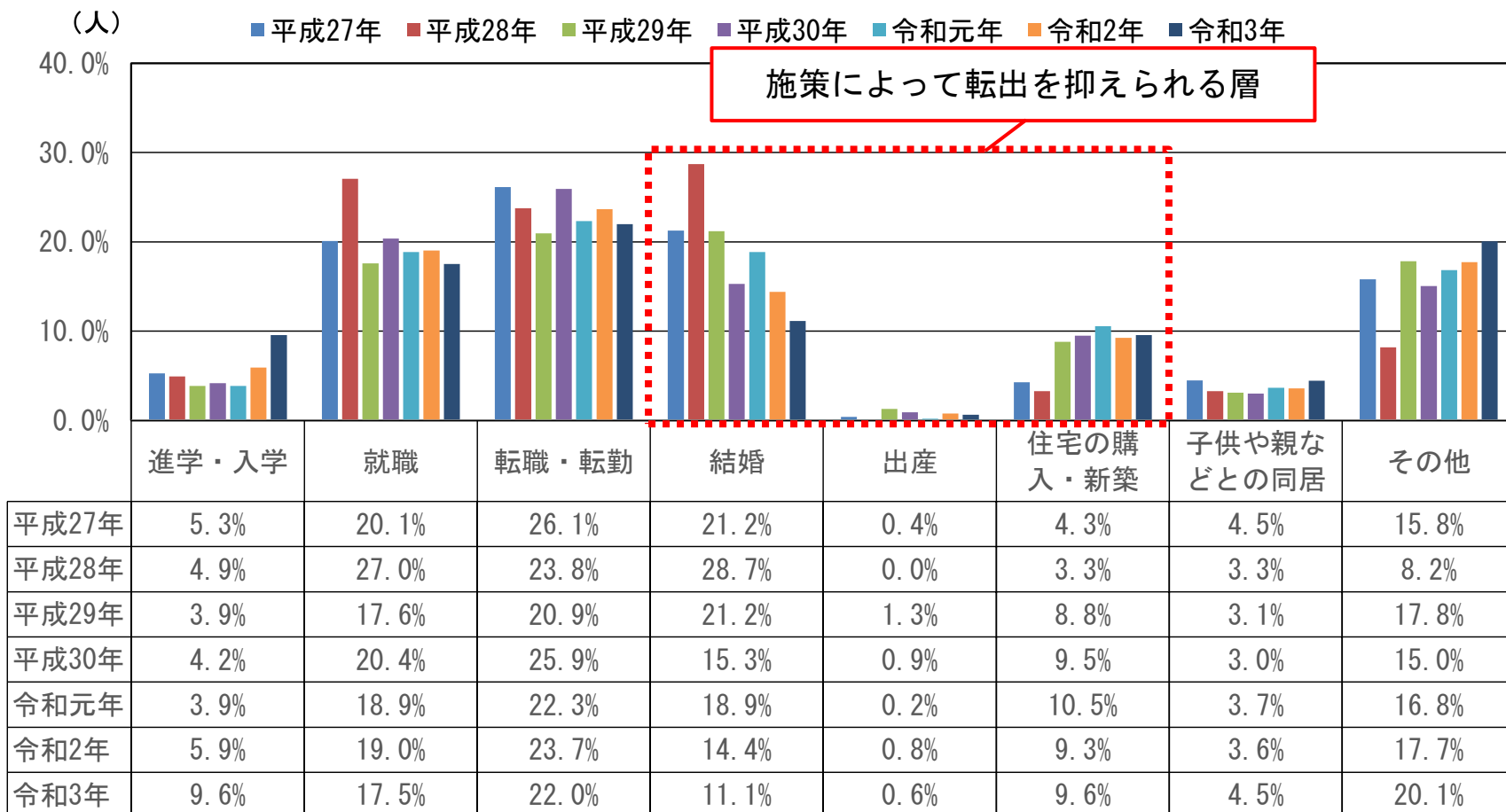
3-①年齢別転出者数の推移

- すべての年において、20代が最も多く、次いで30代となっている。



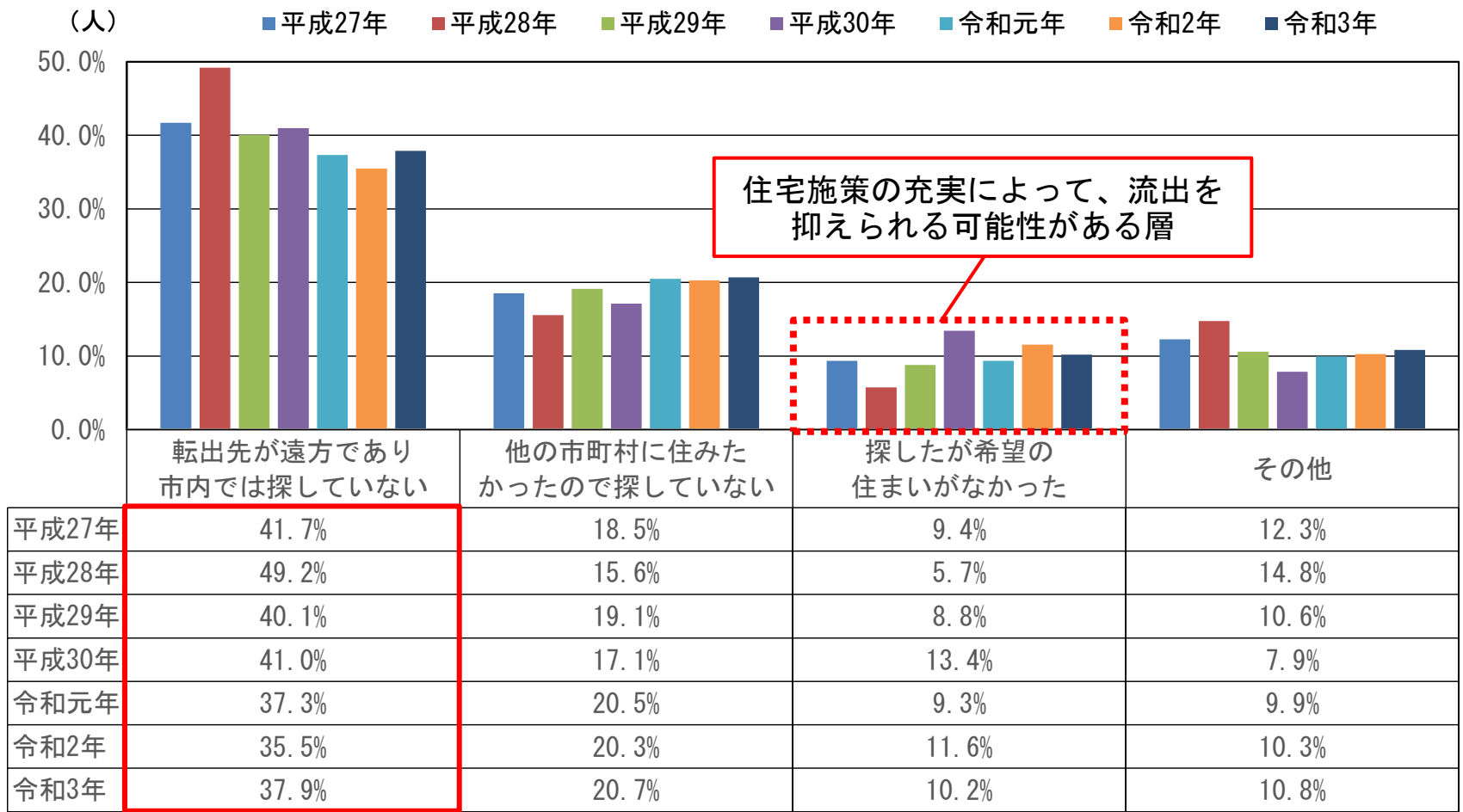
3-② 転出の理由

- 「就職」、「転職・転勤」、「結婚」が他と比較し多くなっている。
- 「その他」においては、“自立するため”、“離婚”、“老人ホーム入所”、“同棲”などがあつた。



3-③市内でも住まいを検討したか

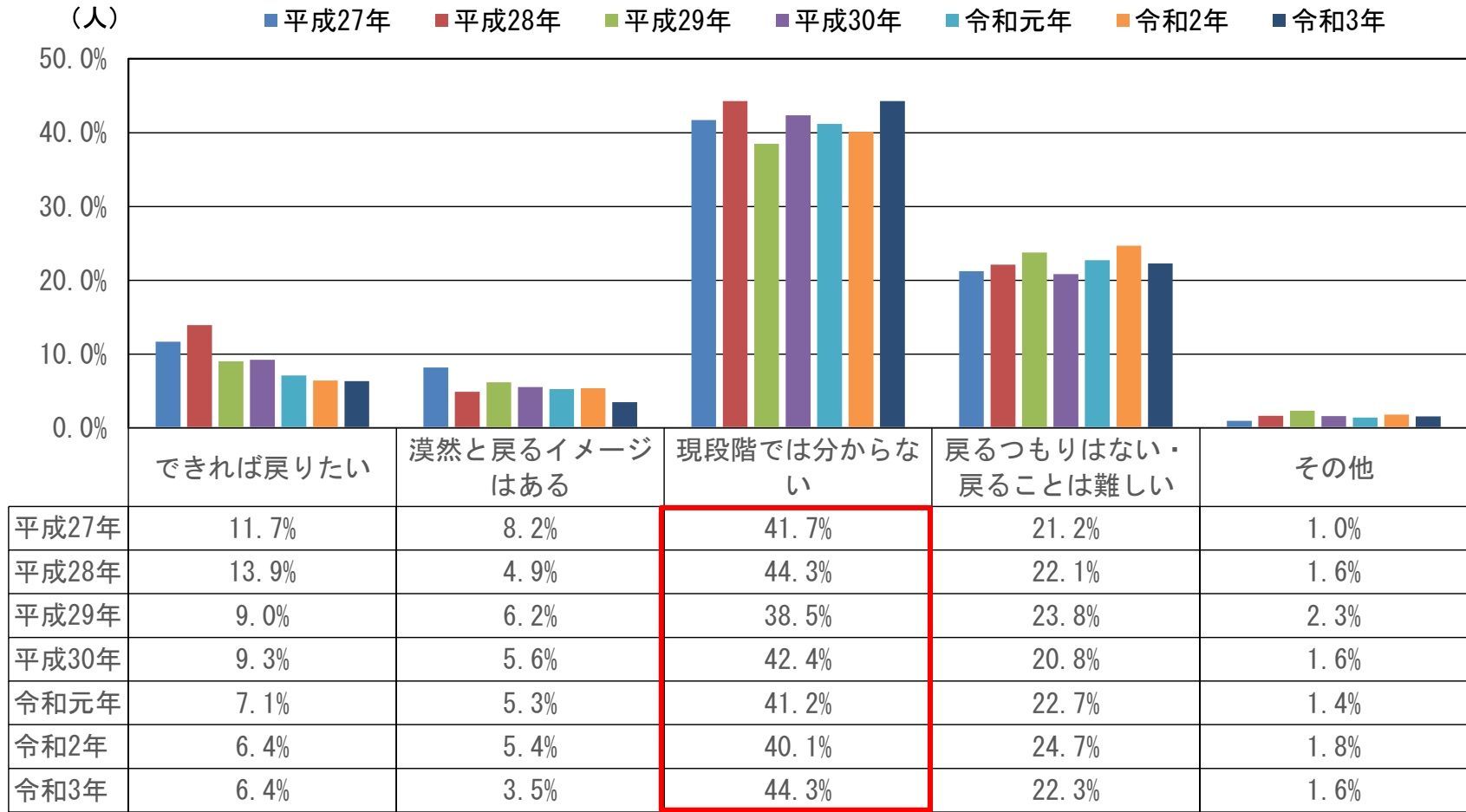
- すべての年において、3.5割以上が「転出先が遠方であり市内では探していない」と回答している。



※アンケート回答件数の割合で算出

3-④ 将来稲敷市に戻るか

- すべての年において、「現段階では分からない」が最も多く、次いで「戻るつもりはない・戻ることは難しい」となっている。



※アンケート回答件数の割合で算出

3 — ⑤ どのような環境があれば戻りたいか

【仕事】

- ・ 仕事については、平成27～R3の合計を見ると、1位は「多様な職種の職場」、2位は「自身や家族の仕事場による」、3位は「福利厚生が充実した職場」となっている。

	1位		2位		3位		4位		5位	
H27 ～R3	多様な職種の 職場	39.3% (133票)	自身や家族の 仕事場による	18.6% (63票)	福利厚生が充 実した職場	15.7% (53票)	交通機関の利 便性	8.6% (29票)	退職後に戻る 予定	1.5% (5票)

3 — ⑤ どのような環境があれば戻りたいか

【住居】

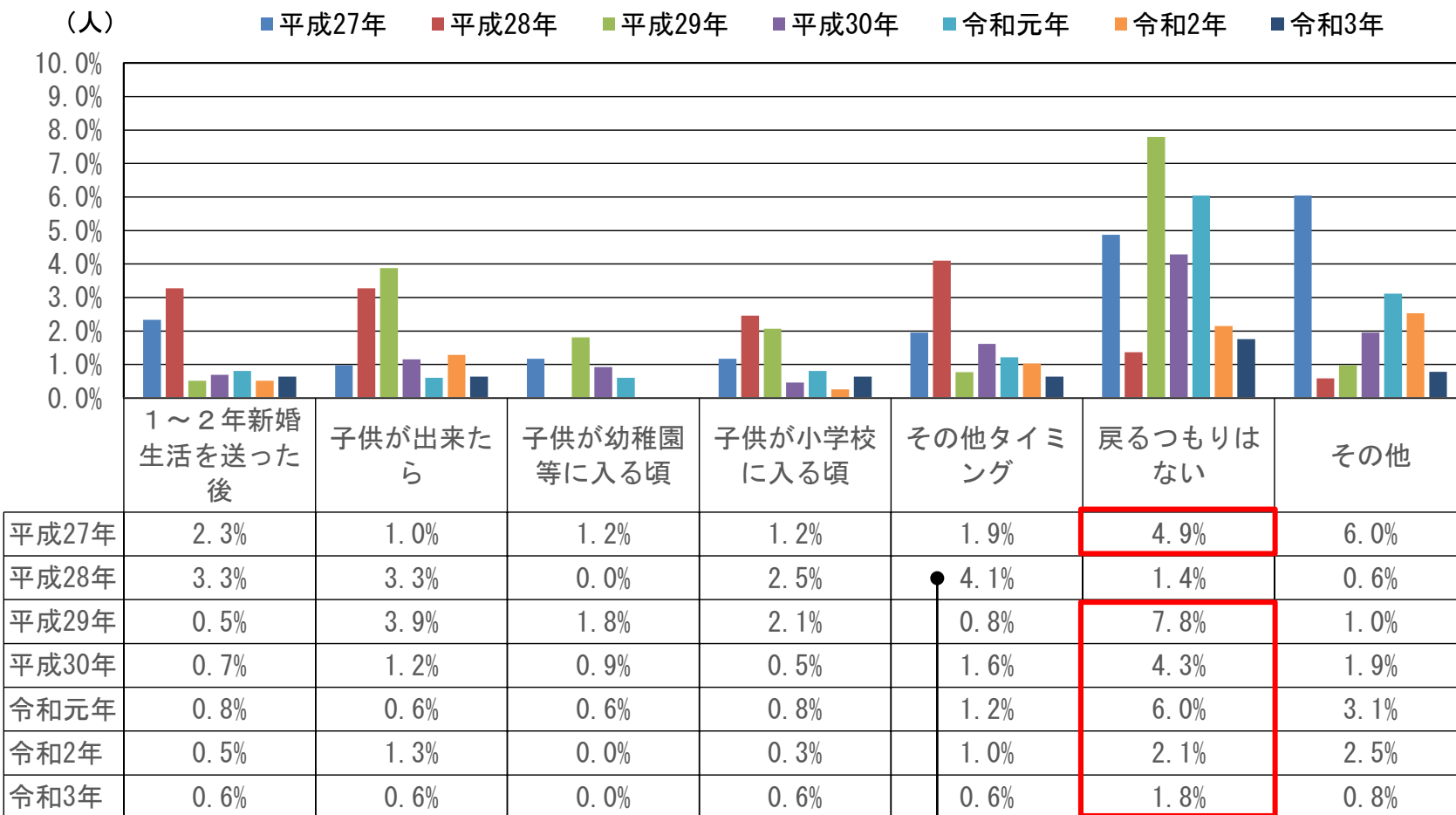
- ・住居については、年によって結果が異なるが、全体で見ると「交通機関の充実」、「手ごろな価格帯の住宅」、「ショッピングモールや公共施設などの充実」についての意見が多くなっている。

	1位		2位		3位		4位		5位	
H27	アパートやマンションなどの増加	23.1% (12票)	ショッピングモールや公共施設などの充実	15.4% (8票)	交通機関の充実 県営・市営住宅	9.6% (5票)	—	—	手ごろな価格帯の住宅	5.8% (3票)
H28	交通機関の充実 手ごろな価格帯の住宅	26.7% (4票)	—	—	アパートやマンションなどの増加	6.7% (1票)				
H29	ショッピングモールや公共施設などの充実 交通機関の充実	20% (6票)	—	—	アパートやマンションなどの増加 手ごろな価格帯の住宅	13.3% (4票)	—	—		
H30	アパートやマンションなどの増加	17.8% (8票)	交通機関の充実 手ごろな価格帯の住宅	11.1% (5票)	—	—	ショッピングモールや公共施設などの充実	6.7% (3票)	県営・市営住宅	2.2% (1票)
R1	ショッピングモールや公共施設などの充実 交通機関の充実	21.2% (11票)	—	—	アパートやマンションなどの増加	13.5% (7票)	手ごろな価格帯の住宅	7.7% (4票)		
R2	交通機関の充実	27.3% (9票)	手ごろな価格帯の住宅	12.1% (4票)	ショッピングモールや公共施設などの充実	9.1% (3票)	アパートやマンションなどの増加	6.1% (2票)		
R3	交通機関の充実	24% (6票)	ショッピングモールや公共施設などの充実 手ごろな価格帯の住宅	12% (3票)	—	—	アパートやマンションなどの増加	4% (1票)		

3-⑥ 戻る場合のきっかけ・タイミング

(3-② 転出の理由で「結婚」と回答した方への限定質問)

- 平成28年を除き、すべての年において、「戻るつもりはない」が最も多くなっている。



- ・子供が独立後
- ・定年退職後
- ・転勤、転職
- ・家を購入するとき
- ・親の介護

※アンケート回答件数の割合で算出

4 まとめ

転入

- 年齢別に見ると、**20代～30代**の世代が多い。また、親とともに0歳～9歳の子も移動していると考えられる。ライフステージにおいて、就職・転職・転勤などによる移動が多い年代であり、全国的な傾向でもある。
- 理由別に見ると、「**転職・転勤**」や「**子供や親などとの同居**」が多い。このことから、6割以上が市外で住まいを探していないと回答したと考えられる。
- 転入者の勤務先は**稲敷市内**が最も多い。これは、市外に勤務する人が、稲敷市を居住先として選択していないことが考えられる。近年住宅地の整備・開発が進められ、人口が増加している牛久市・阿見町を勤務先とする転入者は減少傾向にあることから、市外に勤務する層が稲敷市以外で住宅購入・新築し、稲敷市に定住する機会を失っている可能性がある。
- また、20～30代の転出入者は子育て世代でもあることから、**子育て支援**や特色ある**教育**についての関心が高い世代でもあると考えられる。転入者が稲敷市を選んだ理由の中では「教育や子育て支援の充実」は少ない。子育て環境の充実、子育て支援などの充実と同時に、十分な周知・情報発信が必要だと考えられる。
- また、「**結婚**」、「**出産**」、「**住宅の購入・新築**」を理由とした転入は少なくなっているが、**施策により転入を拡大できる層**だと考えられる。

4 まとめ

転出

- 年齢別に見ると、**20代～30代**の世代が多い。また、親とともに0歳～9歳の子も移動していると考えられる。転入と同様に、ライフステージにおいて、就職・転職・転勤などによる移動が多い年代であり、全国的な傾向でもある。
- 平成27年から**10代～30代の転出超過**が続いていることから、若者の就職・進学や子育て世代と中心とした層にアプローチが必要だと考えられる。働く場の創出や安定した雇用、働く場の環境整備等を整えることが重要だと考えられる。
- 理由別に見ると、「**就職**」、「**転職・転勤**」、「**結婚**」の理由が多いが、「**結婚**」については、**施策により転出を抑えられる層**だと考えられる。
- 仕事の環境について、「**多様な職種の職場**」があれば戻りたいとの声が多い。そこを整えていくことで、若者の転出抑制のきっかけになるとも考えられる。
- 住居の環境については、「**交通機関の充実**」、「**手ごろな価格帯の住宅**」があれば戻りたいとの声が多い。交通機関については、茨城県全体における課題でもあるが、持続可能なまちづくりにおいては重要な課題である。
- 稲敷市内で住宅を探したが、いい物件がなかったので転出していく市民が1割程度を占めている。20～30代の転出入者が購入できる住宅があるかどうか、転入の増加、転出の抑制に影響を与える可能性がある。

5 調査票（転入）

転入

転入される皆様へのアンケート調査

稲敷市では、深刻化する人口減少対策に取り組んでおり、今後とも、本市を取り巻く環境の把握に努めながら、その対策を進めていきたいと考えています。そこで今回、転入される方に対するアンケート調査を実施することとなりましたので、この趣旨をご理解の上、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、本アンケート調査は無記名で回答していただくもので、個人が特定されることはありません。また、アンケートの調査内容を他の目的に利用することはありません。

稲敷市まち・ひと・しごと創生本部

⇒手続きをされた本日の日付けをご記入ください。

令和〔 〕年〔 〕月〔 〕日

■問-1 転入前の住所（市町村名まで）と転入先（大字名まで）を教えてください（それぞれ記入）

転入前	1. 茨城県内〔 〕市・町・村	3. その他〔 〕
	2. 〃 県外〔 〕都・道・府・県〔 〕区・市・町・村	

転入後	稲敷市〔 〕	…江戸崎・月出里・下君山・角峰・下根本・吉渡・四箇
	大字名をご記入ください	本新・幸田・西代などの大字名のみご記入ください

■問-2 今回転入する方、全員の性別・年齢を教えてください（男女のいずれかに○印、年齢を記入）

アンケートの記入者 転入者①	男・女	才	←アンケートの記入者が転入されない場合は、記入の必要はありません					
転入者②	男・女	才	転入者③	男・女	才	転入者④	男・女	才
転入者⑤	男・女	才	転入者⑥	男・女	才	転入者⑦	男・女	才

■問-3 今回の転入の一番の理由は何ですか？（1つに○印）

1. 進学・入学	2. 就職	3. 転職・転勤	4. 結婚	5. 出産	6. 住宅の購入・新築
7. 子供・親などとの同居	8. その他〔 〕				

■問-4 今回手続きで転入するのは、どなたですか？（1つに○印）

1. 本人（本人を含む家族等世帯での転入も含む）	2. その他〔転入者との関係：〔 〕〕
--------------------------	---------------------

「1. 本人」を選んだ方は、裏面の問-5からの回答をお願いします

「2. その他」を選んだ方は、裏面の問-9の回答をお願いします

■問-5 転入される方のうち、仕事をしている方がいれば、その勤務する市町村を教えてください。複数名の場合は、全員の勤務する市町村を教えてください（勤務する市町村すべてに○印）

1. 稲敷市	2. つくば市	3. 龍ヶ崎市	4. 牛久市	5. 阿見町	6. 美浦村
7. 成田市	8. 香取市	9. その他〔 〕、〔 〕、〔 〕			

■問-6 稲敷市に転入するにあたり、稲敷市以外でも住まいを探されましたか？（1つに○印）

1. 探した	2. 探していない	3. その他〔 〕
--------	-----------	-----------

■問-7 問-6で「1. 探した」と回答された方にお伺いします。現在の住まいを決めるにあたり、どの地域と比較されましたか？（比較した市町村の番号すべてに○印）

1. つくば市	2. 龍ヶ崎市	3. 牛久市	4. 阿見町	5. 美浦村	6. 成田市	7. 香取市
8. その他〔 〕都・県〔 〕市・町・村						

■問-8 稲敷市を選んだ理由は何ですか？優先した順番に3つお答えください（3つを記入）

1. 市内に親・子供がいるから	2. 市内に親等の土地があるから
3. 東京に比較的近い立地だから	4. 友人・知人がいるから（親族以外）
5. 進学・勤務先などが市内にあるから	6. 教育や子育てで支援が充実しているから
7. 家賃や土地などが安かったから	8. 畑や田んぼなど農業に興味があるから
9. 住んでいる人が魅力的だから	10. ゴルフや釣り等の環境が恵まれているから
11. のんびりした暮らしが出来そうだから	12. 水辺や緑など自然環境が豊かだから
13. 市内に〔 〕の状況・環境があるから	
14. その他〔 〕	

優先した順番に3つ選んで、その番号記入してください。

1 番目	2 番目	3 番目

■問-9 稲敷市に何かありましたら、ご自由にお書き下さい。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

5 調査票（転出）

転出

転出される皆様へのアンケート調査

稲敷市では、深刻化する人口減少対策に取り組んでおり、今後とも、本市を取り巻く環境の把握に努めながら、その対策を進めていきたいと考えています。そこで今回、転出される方に対するアンケート調査を実施することとなりましたので、この趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、本アンケート調査は無記名で回答していただくもので、個人が特定されることはありません。また、アンケートの調査内容を他の目的に利用することはありません。

稲敷市まち・ひと・しごと創生本部

⇒手続きをされた本日の日付けをご記入ください。

令和〔 〕年〔 〕月〔 〕日

■問-1 転出前の住所（大字名まで）と転出先（市町村名まで）を教えてください（それぞれ記入）

転出前	稲敷市〔 〕 大字名をご記入ください	…江戸崎・月出里・下君山・角崎・下根本・古渡・四箇 本新・幸田・西代などの大字名のみご記入ください
-----	-----------------------	--

転出後	1. 茨城県内〔 〕市・町・村	3. その他〔 〕
	2. # 県外〔 〕都・道・府・県〔 〕区・市・町・村	

■問-2 今回転出する方、全員の性別・年齢を教えてください（男女のいずれかに○印、年齢を記入）

アンケートの記入者 転出者①	男・女	才	←アンケートの記入者が転出されない場合は、記入の必要はありません		
転出者②	男・女	才	転出者③	男・女	才
転出者⑤	男・女	才	転出者⑥	男・女	才
			転出者⑦	男・女	才

■問-3 今回の転出の一番の理由は何ですか？（1つに○印）

1. 進学・入学	2. 就職	3. 転職・転勤	4. 結婚	5. 出産	6. 住宅の購入・新築
7. 子供や親などとの同居					8. その他〔 〕

■問-4 今回手続きで転出するのは、どなたですか？（1つに○印）

1. 本人（本人を含む家族等世帯での転出も含む）	2. その他〔転出者との関係：〔 〕〕
--------------------------	---------------------

「1. 本人」を選んだ方は、裏面の問-5からの回答をお願いします

「2. その他」を選んだ方は、裏面の問-9の回答をお願いします

■問-5 今回転出するに当たり、市内でも住まいを検討されましたか？（1つに○印）

1. 転出先が遠方であり市内では探していない	2. 他の市町村に住みたかったので探していない
3. 探したが希望の住まいがなかった	4. その他〔 〕

■問-6 将来稲敷市に戻ることに、あなたの考えに最も近いものはどれですか？（1つに○印）

1. できれば戻りたい	2. 漠然と戻るイメージはある	3. 現段階では分からない
4. 戻るつもりはない・戻ることは難しい	5. その他〔 〕	

■問-7 稲敷市にどのような状況・環境等があれば、将来稲敷市に戻ろうと思えますか？（具体的な内容を記入）

仕事⇒	〔 〕
住居⇒	〔 〕
その他⇒	〔 〕

■問-8 問-3（転出理由）で「4. 結婚」と答えた方にお聞きします。将来稲敷市に戻るとすれば、どのようなきっかけやタイミングが考えられますか？（1つに○印）

1. 1～2年新婚生活を送ったら後	2. 子供が出来たら	3. 子供が幼稚園等に入る頃
4. 子供が小学校に入る頃	5. 〔 〕のタイミング	
6. 戻るつもりはない	7. その他〔 〕	

■上記で「1～5」を選んだ方にお聞きします。稲敷市に戻る際、どのような住まいをイメージしていますか？（1つに○印）

住まいのイメージ等	1. 親等と同居	2. 実家の敷地内に新築	3. 実家所有等の土地に新築
	4. 新築・購入（実家所有等ではなく土地等も含め）		
	5. 貸家・アパートに入居		
	7. その他〔 〕		

■問-9 稲敷市に住んで感じた魅力や課題、人口減少や少子化対策など、ご自由にお書き下さい。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。